

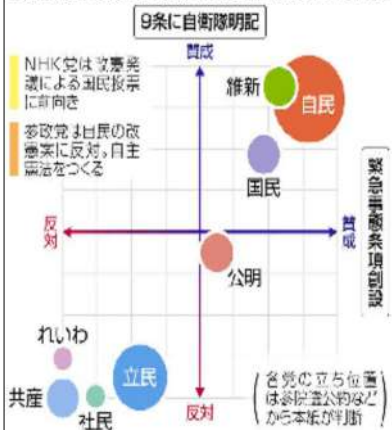


選挙結果 憲法9条がいよいよ危機に

参議院選挙の結果はある程度予測されていたとはいえ、やはりショックです。今後3年間国政選挙がなく、このままの勢力図で行くとなると改憲必至です。

「議論は大事」というポーズで改憲明言に及び腰な党もあり、改憲を急ぐ必要はないというのが国民世論の大勢です。大軍拡の危険、その金は国民生活を守り、平和外交に回せと声を大きくしましょう。

9条改憲と緊急事態条項を巡る各党の立ち位置



<東京新聞から>

衆議院	参議院
自民党 262	119
公明党 32	27
日本維新の会 41	21
国民民主党 11	10
4党の合計 346	177
各院の3分の2議席ライン 310 (+36)	166 (+11)

安倍暗殺事件報道の怪

7月8日、2日後に投票を控えた選挙活動中の安倍元首相が銃殺された。この第一報の報道に違和感を感じた。

- 「逮捕された山上容疑者は政治的な恨みからではない」
- 「ある宗教団体によって家族が破壊されてしまった」
- 「安倍元首相が関係していると「思い込み」銃撃」などと報道。このニュースは、安倍氏がかかわっていると「勝手に思い込んでいた」と団体名を隠しながら、関係があるというのは思い込みだと予防線を張っているのだ。

しかし「ある団体」などと供述しているはずはない。必ず警察は団体を把握しているはず。なぜマスコミには流さなかったのか？流したが報道しないようにしたのか？もしそうとするなら、なぜマスコミはそれを追及しなかったのか？明らかに安倍氏と関係する宗教団体であり、家族を破壊するような活動をしていた（献金や高額な商品を買わせるなどしていた）団体は統一教会、勝共連合と分かる。選挙の投票前にこのような団体との癒着が報道されては困る勢力からの圧力。それにマスコミが屈したか付度したとしか考えられない。

選挙後は盛んにテレビでも報道され、自民党を主とした議員と統一教会との癒着が明らかになりつつある。

国民の意思とは異なる力で国の在り方が左右されている。外国から来たその勢力が、こともあろうに日本の憲法まで改悪せよと指導している。恐ろしいことだ。

さすがに非社会的な活動が無視できない被害をもたらしていると批判が高まり、看板を掛け変えた。名称変更を申請して、一時拒否されたのに、政権が変わってこれが許可されたのはなぜかと共産党の議員が資料公開の請求をしたところ、黒塗りの文書が届いた。モリカケと同じ隠ぺいの手口だ。これを「情報公開」と了解する人間がいるだろうか。

選挙の度にこうした組織の応援を受けて、金も人も支えてもらって当選したことも明らかになっているのに自民党総務会長の福田氏は「なんで騒いでいるのか」「何が問題が分からない」と言う。



各党の改憲への態度

▼自民党は憲法制定は党是。憲法改正実現本部まで作り取り組みを強化。「9条は残して自衛隊の明記」や「緊急事態対応」など4項目中心に「改憲案」。

▼立憲民主党は立憲主義に基づく国民の権利拡大の観点から、議論を進める。憲法への自衛隊の明記に反対。

▼公明党は時代の流れで必要な規定を付け加える「加憲」を検討すべきだと主張。

▼共産党は必要なのは憲法を変えることではなく、9条を生かした外交で平和な日本とアジアをつくることだとし、自民党の改憲案を断念に追い込むとしている。

▼日本維新の会は感染症など非常事態に対処するため政府の権限を一時的に強化する「緊急事態条項」を設けるというほか、9条についてはほぼ自民案と同じ。

▼国民民主党も9条に対する姿勢は自民に近い。

▼れいわ新選、社民党は憲法は変えずその理念をいかすとしている。

改めて戦争を考えるために

学生、戦時下の強制労働―「私の学徒勤労員日記」
(昭和20年) (後平井) 鈴木光治 (7)

7月8日 沖縄の生徒たち、犠牲に

沖縄師範と沖縄一中が表彰された。彼等が玉砕したとは噂で聞いていたがやっぱり事実だったのだ。彼等は鉄血勤皇隊を結成して皇軍と共に戦い最後までがんばり一人残らず戦死してしまったのだ。学徒にもあれだけの働きができるのだ。ある時は軍と共に爆撃と砲撃の最中に陣地を作り、ある者は通信や伝令をつとめついに軍と運命を共にしたのだ。よく戦ってくれた。おれたちの仲間のなかでも「沖縄師範に続け」という声が合い言葉のようになってきた。しかし、おれはどうしたわけか口に出して言えない。おれは卑怯者だからなのか。その掛け声にせめてうなずくだけなのである。おれは弱虫なのだろうか。おれは死ぬのが恐ろしいのか。いや、死ぬことは問題ではない。ボカンと一発やられてしまえば、痛いと感じる間もなく冥土行きなのだ。掛け声なんか不要だということではないか。表彰などで彼等の霊が慰められるものか。おれたちの海岸へ敵が上陸したと想像すれば分かる。ルソン島や硫黄島や沖縄に上陸した時と同じように、空と海からの猛烈な攻撃ではじまるであろうそれを山陰の洞窟のなかでこらえたとしても、戦車を先頭にするアメリカ軍の上陸に遭遇するだろう。おれたちは逃げないで突撃する。つまりおれたちも沖縄師範や一中と同じ運命の下にあるのだ。彼等は早く、おれたちはこれからだ、というにすぎない。そしておれたちの後に表彰ときたって嬉しくもない。そんなものはいらぬ。おれたちは何の為に死ぬまで尽くすつもりなのか。おれたちの国のためだ。同胞のためだ。

おれは近ごろ天皇陛下の御為にという理由では、とても死にきれないことに気がついた。そんな一人のために、どうしておれの二つとない命を捧げなければならないのだ。おれの両親、おれの村、日本人々のためなら、おれの命を役立てよう。おれたちの国が勝ってくれさえすればよいのだ。(中略)新聞も「本土決戦必ず勝つ」と言っている。その勝因が「ただ任務の必遂であり」「敵近づけば思うつぼ、その機つかんで我が戦力爆発」とある。任務は国民みんな果たしているに違いないのだから戦力になる。その戦力はどのようなものかぼかしてある。もしあるなら罪なき国民が空襲の度に財産や同胞を失うままにして敵どもを我が物顔にのさばらせておくことはおかしい。何かすごい兵器ということもこんなにアメリカのハエ共に嘲弄されている状態では期待できない。つくすべき手がないからほしいうまにのさばらせたままに置いていたのではないかと考えて行くと残るはただ一つ、例の肉弾戦法しかない。国民が弾丸となってとんで行けというのだろう。

安倍元総理の国葬反対

岸田首相は国葬でモリ・カケ、サクラをはじめとした様々な疑惑も葬ろうとしています。国会での歴史に残る虚偽答弁の多さ。アベノミクスによる経済の行き詰まり、数百億円もかけたアベノマスクも過去のことではなく、事実の確認のための開示請求に「文書がないので開示できない」とまたまたモリカケと同じ隠ぺい。こんな国政を進めた人物の「業績を讃える」国葬には断固反対。「9条の会・流山」は下記の抗議声明を出しました。



内閣総理大臣岸田文雄殿

安倍晋三元首相の国葬に反対し撤回を求める

岸田文雄首相は7月14日、銃撃によって死亡した安倍晋三元首相の国葬実施を表明し、「我が国は暴力に屈せず、民主主義を断固として守り抜く」という決意を示していく」と理由を説明した。

しかし「国葬」なるものは、日本の法律にはその根拠がなく、そのために多額の国費を費やすことは法治主義の原則にもとり、容認できない。安倍晋三元首相は、アベノミクスやアメリカ一辺倒の外交、コロナ対応など様々な批判もあり、モリ・カケ・「桜を見る会」などでの度重なる虚偽答弁や政治の私物化をはじめ種々の疑惑は未だ真相解明の途上であり、争いの渦中にある。

「国葬」によって一方的な権威づけをし、批判を封じることになれば、自由な言論を基礎とする民主主義を損なうおそれがあり、国論は二分されることになりかねない。国を挙げて安倍氏を弔うかのように装う「国葬」は行うべきではない。葬儀を行うならば内閣葬なり、自民党葬とすべきである。

岸田首相は国会にもはからず、閣議決定だけでこうした法的根拠のない重大事を決定して、既成事実として強行しようとしており、銃撃事件が参議院選挙の遊説中だったため、これを「民主主義を守る」という名目で正当化しようとしているが、逆に民主主義の破壊につながりかねない。

むしろ銃撃の容疑者の犯行動機が「政治的恨みではない」「宗教団体に家庭を破壊された恨みだ」などと報道されているにもかかわらず、その団体名や安倍氏との関係が選挙の投票日後まで隠し続けられたことこそ民主主義の大問題である。

かつて唯一例外で行われた吉田茂元首相の国葬の際も、法的根拠が問題となりながら、新聞、テレビなどは「戦後史の巨星をおくる」「人情家吉田さん」など吉田氏追悼番組や、葬送の音楽が流され、論敵も多かった吉田氏への批判は出しにくい雰囲気の中で吉田氏を全面的に賛美する場が作られた。

国会を無視し、政治的な思惑から事件を利用し、国民に分断を持ち込みかねない安倍元首相の「国葬」には断固反対し撤回を求めるものである。

2022年7月30日

千葉県流山市「9条の会・流山」

第24回平和のための戦争展「とうかつ」

第Ⅰ部 記念講演

8月9日(火)14:00～ アミュゼ柏 アミュゼ柏 クラスカルホール

いま、戦争と平和を考える ー未来は私達の手のの中にー

講師：大東文化大学文学部教授 渡辺雅之 氏

第Ⅱ部 8月17～18日 展示、朗読、腹話術、歌声、DVD上映など多彩な文化集会在パレット柏、アミュゼ柏で行われます。

おおたかの森駅宣伝と署名

8月9日(火)11:00～12:00

今月は時間が変わりました。

~~~~~

カンパはこちらの郵便振替口座へ  
00130-5-464735 口座名 九条の会・流山